

平成30年度 第4回 第6期武蔵野市廃棄物に関する市民会議要録

- | | | |
|--------|---|---------------|
| 【日 時】 | 平成31年1月16日（水） | 午後7時00分～8時43分 |
| 【場 所】 | 市役所西棟8階 812会議室 | |
| 【出席委員】 | 山谷修作、田口誠、荻野芳明、金井憲一郎、
(敬称略) 加藤慎次郎、木村文、新垣俊彦、吉安晶子、茂木勉、西上原節子、
花俣延博、能勢方子 | |
| 【事務局】 | ごみ総合対策課長 ほか | |
| 【欠 席】 | 沢村哲志、松井理依子 | |
| 【傍 聴】 | なし | |
| 【配付資料】 | ・【資料1】武蔵野市一般廃棄物処理基本計画（素案）
・【資料2】ごみ処理基本計画の主な施策について【変更点新旧対照表】 | |

1 開会

【委員長】定刻になったので、市民会議を開催する。

2 議題

(1) 計画目標を達成した場合の本市のごみ排出量の将来推計

【事務局】資料1『武蔵野市一般廃棄物処理基本計画（素案）』内の該当ページで説明。

【委員長】資料1に2か所修正がある。11ページ3行目の“食品ロス”とあるのは“厨芥類”を指すので修正をお願いする。表中の項目で“食品ロス”と定義できるものは、“手つかず食品”と“食べ残し”である。19ページ.表2-2中の“H25比”は、“H29年度比の削減量”という表現に変更すべき。

【事務局】修正する。

【委員長】他に何か意見はあるか。

【委員】20ページの家庭系ごみの目標値について、家庭系ごみの排出量原単位をH37年以降毎年度、前年度原単位から0.5%削減とする根拠は何か。

【事務局】これまでの家庭ごみのトレンドは1%減で推移していたが、減少率が鈍くなっている現状を踏まえ、削減率を高くしすぎないという考えの下、0.5%と設定した。先が不透明ということもあり控えめな削減目標だが、4年毎に見直し時期があるので、その都度検討し、見直していく。

【委員長】今回の目標値は、決定でよろしいか。

【一 同】（異議なし）

【委員長】次の議題をお願いしたい。

(2) 計画の主な施策について

【事務局】資料2について説明。

- 【委員】資料1の21ページ、表2-4中で粗大ごみは多摩地域26市中ワースト1位で不燃ごみより量が増加している中、粗大ごみについての具体的な施策について述べられていないのは、何か理由があるのか。
- 【事務局】武蔵野市は一世帯当たりのごみ量が多く、遺品整理関係の粗大ごみも多くなっており重要な問題だと考えている。削減が必要だとは考えているが、具体案はまだ検討中である。
- 【委員長】粗大ごみは家庭内のストックが多いうえに、転出入時などに一気に排出されるのが特徴である。継続的に処理する方法としてリユースは非常に有効だと考える。
- 【委員】個人的には、粗大ごみの量や出し方が特別悪いとは思わない。自治体ごとに粗大ごみの定義や出し方が曖昧で一概に他の自治体と比較できないと考えている。
- 【委員】武蔵野市として行政の方針をしっかりと整理して、物の循環を促すシステムと目安を市民に示すことが必要だと考える。その際、バックヤードがないことは懸念材料だと思う。
- 【委員長】エコプラザでは、リユース促進活動は考えていないのか。
- 【事務局】現状聞いている中では、主たる事業にはなっていない。リユースの促進は民間の力をお借りし、市は市民に情報を提供するのも市の役割と考えている。
- 【委員】バックヤードは大きな場所が必要なため、厳しいだろうとエコプラザ検討市民会議内で話されている。リユースについては検討項目に入っている。
- 【委員】エコプラザのリユース機能は考えないといけないが、バックヤードとして使えるかは難しい。他に何ができるかを考えていく必要がある。
- 【委員長】民間ベースでリサイクルショップの利用促進ができればよいと思う。
- 【委員】以前、個人的にリサイクルショップを初めて利用したが、リユース品とは思えない程、良い品が沢山あり非常に驚いた。リサイクルショップの活用促進は十分効果的だと思う。
- 【委員】資料2の「2. ごみ・資源物の発生抑制・排出抑制」について、市が主体となって行う項目が分かりにくかったので、説明をお願いしたい。
- 【事務局】文章の並びを変更し、分かりやすい表現に修正する。
- 【委員】資料2の「4. ごみ処理の効率化・環境負荷の低減」において、住居形式の変化によって問題が起こっていると思うので、“一部の大規模集合住宅”と特定する書き方は避けるべきなのではないか。
- 【委員長】集合住宅でも集団回収が根付いている点も考慮した表現にするべきではないか。
- 【事務局】修正する。
- 【委員】資料1の素案内の26ページ以降に“また”の接続詞が多すぎると感じる。
- 【事務局】文章の意味が問題なく通じるようできる限り表現を修正する。
- 【委員長】次の議題をお願いしたい。

(3) 武蔵野市災害廃棄物処理計画について

【事務局】 第Ⅱ編について説明。

【委員長】 多摩地域と仮置場は共同設置ということだが、話し合いの動向はあるのか。

【事務局】 多摩地域で共同の二次仮置場、中間処理施設の検討について、緒に就いたばかりである。

【委員長】 クリーンセンターが災害時に稼働できるかが一番の鍵だと思う。復旧を速やかに行うためには市内の道路を如何に早く啓開するかが重要なので、仮置場の設定は非常に重要である。

【委員】 東日本大震災の際、当時クリーンセンターに発電機がなく、計画停電の対象となった場合、炉の稼働が困難であり苦慮していたと聞いている。災害時は炉が止まらないことが重要だと思う。

【委員長】 次の議題をお願いしたい。

(4) 廃棄物処理施設等の施設整備・維持管理計画

【事務局】 第Ⅲ編について説明。

【委員長】 公衆トイレの所管がごみ総合対策課になっている事例は中々無い。理由があるのか。

【事務局】 所内の管轄変更に伴って、所管が移り変わり今に至っている。

【委員】 公衆トイレについての問題は街づくりの中で考えていくべきだと思う。街づくりを含めた様々な所管との連携が必要なのではないか。

【事務局】 ごみ対策課としてもそう考えているが、63ページに記載されている問題が、公衆トイレの管理の本質的問題になっているのだと思う。

【委員】 現状市内には180以上の公園があるが、トイレが設置してある公園は10箇所程度である。治安の問題への懸念からこれまでトイレを作ってこなかった経緯がある。公園内にトイレがあることは、高齢者の外出促進の観点からも需要は高い。「公共施設等総合管理計画」により、公共施設の維持管理についての洗い出しを行うよう国からも動きがあり、背景をふまえ慎重に考える必要がある。

【委員長】 他に意見が無ければ、事務局より次回の予定をお願いしたい。

(5) その他

【事務局】 今回の素案から、中間の取りまとめ案を作成し、次回市民会議で提示を行う。その後、パブリックコメントにかけ、得られた意見を踏まえ修正を行っていく。会議は残り2回の開催を予定しており、年度内に1回2月下旬から3月上旬頃を予定している。本日の資料1の素案に関する意見は1月中にお願いしたい。

【委員長】 他になければこれにて閉会とする。

3. 閉会